

# 婦負の野



ISO9001 認証取得

〒930-0143  
富山県富山市西金屋6682番地  
社会福祉法人めひの野園  
TEL.076-436-0270  
発行責任者 中田 匡  
(表題書)  
富山市中川上町3の31  
(股)社 浦 櫻木先生

めひの野園の「うさか寮」入所施設は4つの棟に分かれています。その中の1棟、「奈呉棟」の棟名の由来になったのが、万葉集で詠まれた「奈呉の浦」で、現在の富山県北西部の沿海の古称です。

その「奈呉の浦」に流れ込む「内川」は、富山県射水市を流れる運河で、古くから地域住民の生活と深く関わり、親しまれてきました。

川べりに民家が建ち並び、川の両岸に漁船が連なって繋留されている景観から、「日本のベニス」と称されています。

mehino  
40th  
Anniversary

## 特集

# めひの万葉歌紀行

めひの野園のルーツをめぐる

うさか寮の4棟

「奈呉棟」・「あしつき棟」・「三上棟」・「雄神棟」

春の苑

mehino  
40th  
Anniversary

めひの野園のルーツをめぐる

# めひの万葉歌紀行

## 第4回

めひの野園では、法人名を始め、事業所名のほとんどが「万葉集」から名付けられています。1983年（昭和58年）の開設以来、利用者の生活の拠点となっている「うさか寮」は現在、利用者の性別や個々の特性に配慮し、4棟に分かれています。それらの各棟の名も万葉集から付けられました。

今回は「うさか寮」の4棟と「春の苑」の名前の由来を紹介します。

### 「春の苑」の由来の歌

春の苑 紅にほふ

桃の花 下照る道に

出で立つ娘

(大伴 家持)

— 春の庭園が紅色に美しく照り映えている。桃の花の下まで咲き照る道に出て、たがずむ少女よ。



春の苑外観。



富山城址公園の脇を流れる松川に架かる「七十二峰橋」横の歌碑。

### 「春の苑」と万葉集

万葉集で詠まれる「春の苑」とは、「春の庭園」のこと。「ここに集う人たちにとって、うらかな春の庭園のように穏やかな気持ちになれる場」と、2002年（平成4年）、知的障害者デイサービスセンター「春の苑」が開設されました。以来、4階のお茶室「愈好軒（ゆこうけん）」では、地域の皆さんや来園されたお客様をお抹茶でもてなし、交流の場としての役割も担ってきました。

また、「うさか寮生活介護事業所」の利用者の日中活動の場として、さらに、イベント開催時には2階の大浴場が無料開放される等、多目的に利用されています。



二上山からの眺望。

### 「二上棟」の由来の歌

玉くしげ 二上山に

鳴く鳥の 声の恋しき

時は来にけり

(大伴 家持)

— 二上山に鳴くホトトギスの鳴き声が恋しい時季がやってきた。



「春の苑」のパノラマ写真。



## めひの万葉めぐりマップ



高岡市「あしつき公園」の歌碑。

——雄神川が紅色に照り映えている。あてやかな少女たちが、葦附を採るために川の瀬に立っているらしい

(大伴 家持)

「雄神棟」・「あしつき棟」の由来の歌  
雄神川 紅にほふ  
娘子らし 葦附採ると  
瀬に立たすらし

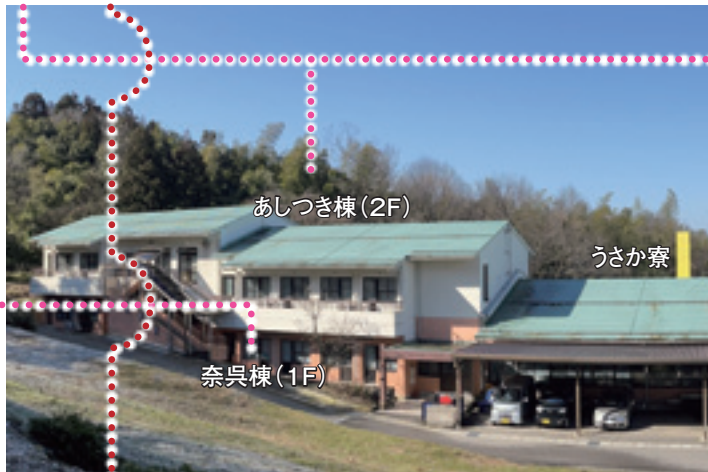
「鳴く鳥」とはホトトギスのこと。家持の故郷である奈良の都では、立夏の頃にはホトトギスの鳴き声が聴かれました。しかし、赴任先の越中では季節の移り変わりにズレがあり、立夏の日には、まだその鳴き声を聴くことはできませんでした。ホトトギスの初音を待ち恋しく思う歌です。



旧二上山郷土資料館の歌碑。

「葦附」とは、アシツキノリのことで、緑褐色で寒天質の海苔の一種です。万葉集の時代は食用にされていましたが、環境の変化によって、今では殆ど見かけることはなくなりました。現在は富山県の天然記念物に指定され、保存への研究が続けられています。  
「にほふ」とは嗅覚ではなく、色合いが照り映えるという意味で、清流の岩に付着したアシツキノリを採るために川に浸かった少女たちの着物の裾が川面に映り、雄神川（現在の庄川）が紅色に染まって見えたという、絵に描いたような一首です。

葦附（あしつき）とは？

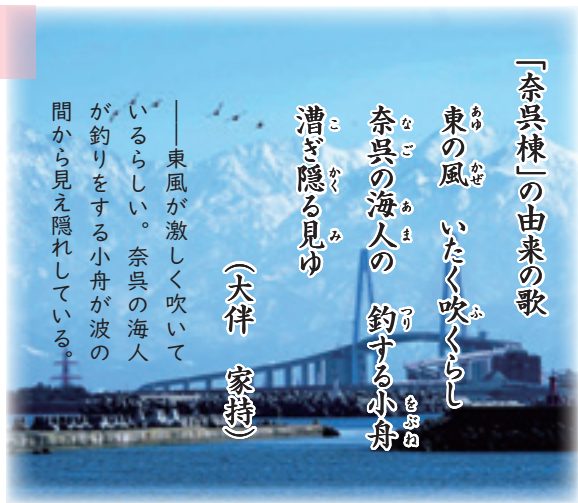


あしつき棟(2F)

うさか寮

奈呉棟(1F)

めひの野園敷地内「うさか寮」



「奈呉棟」の由来の歌

東の風 いたく吹くらし  
奈呉の海人の 釣する小舟  
漕ぎ隠る見ゆ

(大伴 家持)

——東風が激しく吹いているらしい。奈呉の海人が釣りをする小舟が波の間から見え隠れしている。

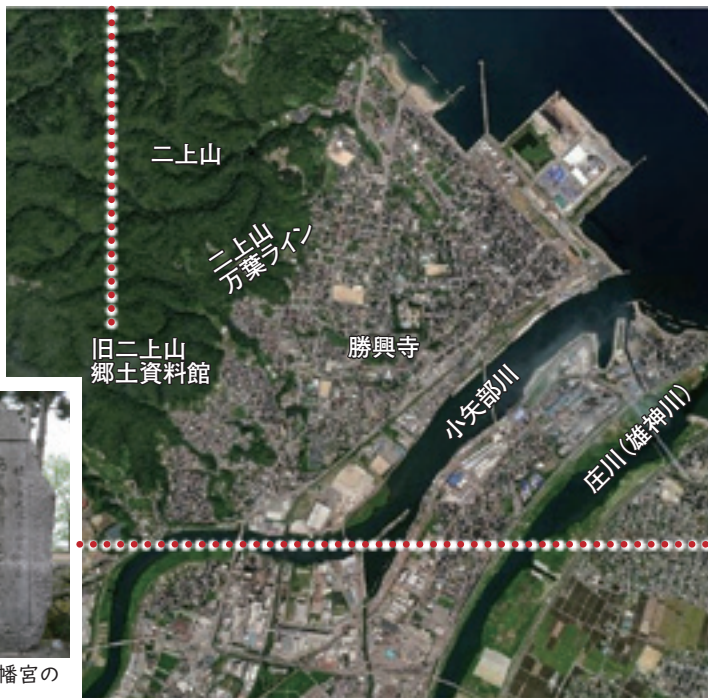
奈呉の浦から見た新湊大橋と立山連峰。

環境は変われども…

家持が歌に詠んだ当時、「奈呉の浦」には砂州が伸び、その内側には「放生津潟」と呼ばれる潟湖が形成され、見事な景観だったそうです。しかし、時が流れ、経済成長期における「富山新港」の造成等の港湾開発により、潟湖は姿を消しました。万葉の時代とは環境が変わった現代の「奈呉の浦」ですが、新湊大橋が開通し、海王丸パークと共に、県内有数の観光地として県民から親しまれています。



放生津八幡宮の歌碑。



二上山

二上山万葉ライン

旧二上山郷土資料館

勝興寺

小矢野川

庄川(雄神川)

春から夏に海から吹く「あゆの風」は「あいの風」とも言い、「豊漁をもたらす風」として県民に知られています。  
記・広報委員会 岡崎 秀徳



# あしたのめひの

Vol.27



高じた趣味を仕事に活かす  
「めひのの職員」紹介します!

ウォーム・ワークやぶなみ  
みしまの工房 手芸班

島田 葉奈

特技：いろんな「楽しい」を見つける!

Q. 色々な活動にアクティブに取り組んでいますね?

—はい。めひの野園ビーチボールバレー部では、僭越ながら主将を務めています。毎週月曜日、夜7時半から9時まで、めひの野園の体育館で練習するほか、最近では地域の体育館にお邪魔して、地域の皆さんと合同で練習することもあります。最初は「運動不足の解消」にと思って参加しましたが、職員やチームメイトとのコミュニケーションの場となっていて楽しいです。コートの上では、先輩後輩関係なく叱咤激励しています。



ビーチボールバレー（写真左）に、利用者の余暇活動（写真右）…と、様々な活動に積極的に参加している島田支援員。

Q. めひの野園の和太鼓サークル「喜楽太鼓」のメンバーでもありますね。

—ピアノやギターなどの楽器演奏も好きだったので、和太鼓もやってみようと思いました。世代の違うメンバーとも仲が良く、楽しく活動しています。最近はいイベントが少なく出番が減っていますが、次の活動を楽しみにしています。

Q. 「地域魅力会議」にも参加し、利用者の余暇活動にも力を注いでいますね。

—「利用者が楽しめる企画はないか」、そのために必要な準備は何か」と有志

の職員で話し合い、様々な余暇活動を実施しています。他事業所の職員と情報交換しながら利用者の余暇支援を考えるのは、他では出来ない経験だと思っています。「利用者が楽しみにしてくれるので、それに応えてあげよう」「きつと自分にも返ってくるものがあるだろう」という思いで活動しています。

Q. 他にも広報誌の似顔絵イラストを担当したり、写真部にも所属したりと大忙しですね。

—色々な活動に参加していますが、だからといって他のことがおろそかになるわけではないです。「やらないよりは、やってみてから考えよう」というタイプで、「楽しい」と感じられる範囲が人より広いのだと思います。自分でも「ラッキーな性格だな」と思っています(笑)。

Q. 今後の展望は?

—どれも「自分が楽しみたい」と思って始めたことですが、その結果が利用者のためにもなればよいと思っています。これからも、自分が楽しいと感じることはどんどん挑戦していきたいと思っています。

島田さんの周りはいつも明るい笑顔でいっぱいです。

記：広報委員会 柴田 香菜江



めひの野園のオススメ新商品を紹介します!

# Mehino +

めひの プラス



ご飯にはもちろん、インスタントラーメンとの相性も good!

「飛騨地鶏肉」と「椎茸」のコラボレーション!

## ●●● 飛騨地鶏肉味噌 (¥600) ●●●

めひの野園では、バラエティーに富んだ自慢の品々が生産されています。そして、事業所の垣根を超えたコラボレーション商品の開発にも積極的に取り組んでいます。それぞれの商品の良さが掛け合わさることで相乗効果が生まれ、これまでにない美味しさの新商品が生まれることも…?



味に自信ありの一品です。ぜひ一度食べてみられ。

「ハーティとやま」では大好評のため品薄状態に。追加の納品に大忙しの酒井指導員。

開発前から「これを作ったら絶対に美味しいものが出来る!と確信していた」と話すのは、「飛騨地鶏肉味噌」を手掛けたウォーム・ワークやぶなみ「食彩部門」担当の酒井いづみ指導員。飛騨市の特産品の一つ、「飛騨牛のしぐれ煮」をヒントに思い付いたのだとか。

味付けは、味噌やんにく、砂糖、唐辛子等と、あえて特別な調味料は使わず、「飛騨地鶏肉」と「椎茸」の互いの良さを引き出すことを考えたそうです。



出来上がった「飛騨地鶏肉味噌」を瓶詰めする食彩部門の利用者。

この「飛騨地鶏肉味噌」をベースにした商品と位置づけ、これから「山椒味」など、様々な味付けを開発していきたいと意欲的な酒井指導員。

今後の展開が楽しみな「飛騨地鶏肉味噌」は、めひの野園のアンテナショップ「希望」や、各種イベントにて販売中です。

これからどんな味の肉味噌が出来るのか楽しみですね!  
記・広報委員会 宮舟貴子



# 群竹

muretake

めひの野園職員の雑感コーナー



春の苑 主任 岩城 聡

私は数年前から柄にも無く、料理作りに夢中になっている。なぜなら、自分が腕を振るって作った料理を「美味し〜い!」「また作ってね!」と言って味わってくれる家族の存在があるからだ。特に自家製チャーシュー、油淋鶏、坦々麺、肉汁たっぷりハンバーグは大好評だった。立山黒部アルペンルートの雪の大谷が解けるとまずいので、のろけ話はこの辺で…。

昨今は初めて作る料理でも、紙媒体の料理本をわざわざ開かず、スマホやテレビのYouTubeで気軽に検索が可能なご時世となり、多種多様の作り方を音声と文字とで丁寧に教えてくれる。また、今まで料理作りとは無縁だったタレントやお笑い芸人までが得意げに料理動画を定期的にアップしており、時代の変化に驚きを隠せない。はまったら、とことんはまる私の悪い癖が発動してしまい、大ファンである料理チューチューバー「コウケンテツさん」愛用の調理器具をいくつも購入してテンションを上げてしまいう始末である。

休みの日には自分が作った料理と、義母から製造方法を教わった自家製梅酒と羽根屋の大吟醸酒を呑みながら、ファンクラブに入会している東京ヤクルトスワローズの応燕(おうえん)に一喜一憂し、明日への英気を養うことが私の一番の気分転換である。

最後になるが、料理作りも、そして今年で22年目を迎える福祉の仕事も「好きこそもの上手なれ」をモットーに日々邁進して行きたい。

きつと出来る!  
きつとつながる!



vol.1

めひの野園は、設立当初から地域の  
一員として、地域社会と共に生  
きる「共生社会」の実現を目指し  
てきました。  
地域社会に果たす役割への関心  
が高まっている今、めひの野園でも  
社会貢献活動に積極的に取り組ん  
でいます。

みしまの工房「ペレット班」では、「作業  
センターふじなみ」での椎茸一貫生産で  
使用済みになった廃棄菌床ブロックを機  
械で粉碎し、木質ペレットを製造してい  
ます。  
そして、今年度その作業と並行して、も  
う一つの材料を使ったペレットの製造を  
始めました。

自分たちの「出来ること」を地域に役立てたい！  
～ペレット班の「池多リンゴ」の枝の回収作業～



回収してきたリンゴの枝を台車に乗せて運びます。



剪定作業で枝を切るリンゴ農家さん

その材料とは、地元の特産品である  
「池多リンゴ」の枝です。  
とても美味しいと評判の「池多リン  
ゴ」ですが、収穫を終えたリンゴ農家で  
は、伸びた枝を切り落とす剪定作業が始  
まります。

そこで切り落とされた枝の処分は農家  
にとっては重労働。「この作業さえなけ  
れば…」という声も聞かれるそうです。  
そこでペレット班では、枝の回収作業を  
請け負い、その枝を使った木質ペレット  
の製造を開始しました。



粉碎機でパウダー状にした物(写真上)を機械で圧縮し、  
ペレットを製造します。(写真下)。

リンゴ畑に枝の回収に行くと、農家さ  
んには大変喜ばれます。何せ、こんな重  
労働を引き受けてくれる人など、これま  
でいなかったのですから。。。

これまで当園で取り組んできたテー  
マである「地域との共生」のためには、  
「自分たちが地域にどれだけ貢献でき  
るか」が大きなカギになります。  
「障害者II何も出来ない人」と思われ  
る人も少なくないかも知れません。しか  
し、そんなことは決してなく、一人ひと  
りの「出来ること」や「得意なこと」を  
活かし、地域のお役に立つことが、自分  
たちの喜びや、やりがいにつながって  
いるのです。  
これからも当園は「互助の気持ち」で  
地域貢献活動に取り組んでいきたいと思  
います。

地域の皆さんの役に立っている  
活動をこれからも紹介してい  
きます!

記：広報委員会 東 瑠奈



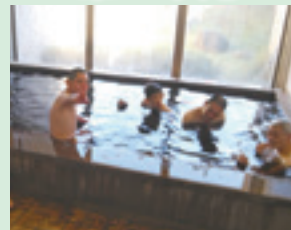
# クリスマス会・忘年会(新年会)特集

昨年末に各事業所で行われたクリスマス会・忘年会の様子をご紹介します。なお、各事業所のクリスマス会・忘年会には、「NHK歳末たすけあい」による助成をいただいています。

## リサイクル班



## 梨の木苑



11月10日(木)「つるぎ恋月」に日帰り旅行に行ってきました。温かい温泉にゆっくり浸かり、美味しい料理をいただきました。

生活介護班は12月15日(木)に春の苑2階で、リサイクル班は12月20日(火)にうさか寮で、それぞれクリスマス会を行いました。食事の後は職員サンタクロースからデザートのプレゼントが贈られました。

## 生活介護班



## 飛騨流葉牧場

飛騨流葉牧場は12月23日(金)に、飛騨温泉Mプラザと事業所の食堂の2カ所に別れ、忘年会を楽しみました。美味しい食事をいただき、1年間お仕事を頑張った労をねぎらいました。

## 作業センターふじなみ



作業センターふじなみは、1月30日(月)の昼食時に、食堂で新年会を行いました。いつもよりも豪華な料理やデザートを食べながら楽しいひと時を過ごし、英気を養いました。

## やねのうえのガチョウ



12月5日(月)、砺波ロイヤルホテルで忘年会を行いました。宴会で美味しい料理をいただいた後は、温泉に浸かってリフレッシュ。1年の疲れを癒しました。



## みしまの工房



みしまの工房では、12月16日(金)に、食堂と各班の作業場でクリスマス会を行いました。イタリア料理の弁当とデザートケーキをいただき、楽しいひと時を過ごしました。



## ウォーム・ワーク やぶなみ生産課



ウォーム・ワークやぶなみは食堂で忘年会を行いました。日頃お世話になっている取引先に仕出し弁当をお願いし、みんなで美味しくいただきました。

「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられています。

わたしたちと一緒に働きませんか

めひの野園では、新しい仲間を募集しています。

仕事の内容は様々で、グループホームの世話人や夜間支援員、マイクロバスやワゴン車の送迎運転手、事務員などです。また、正規職員の生活支援員や看護師も募集しています。

これまで福祉業界での勤務経験が無い方や障害者と関わったことが無い方でも大丈夫。「ぜひチャレンジしてみたい」という熱意のある方なら大歓迎です。



【求人に関する問い合わせ先】

電話076(436)0270

担当 事務長 岡部

職種によって勤務時間や待遇等が異なりますので、詳細については電話でお問い合わせいただくか、ハローワークの求人掲載内容をご覧ください。また、各種条件面に関する相談にも応じますので、お気軽にご連絡ください。

当園のモットーである「笑顔・挨拶・礼儀」を実践できる方で、障害(主に自閉症)のある人たちへの理解がある方のご応募をお待ちしています。

また、お知り合いの方で仕事を探している方がおられましたら、ぜひご紹介ください。



ご寄付ありがとうございました。

(2022.12.14~2023.2.17) 敬称略

- 富山国際大学 富山市
(学)NHK学園 東京都国立市
米田 五百子 高岡市
酒井 孝 中新川郡
佐藤理容院 富山市
富山県農業経営課 富山市
(有)シヤロツテ 富山市
めひの野園保護者会 富山市
池原 清 射水市
富山短期大学 富山市

寄付金振込口座番号
北陸銀行呉羽支店 店番号120
普通預金6077230
社会福祉法人 めひの野園

来訪者

(2022.12.14~2023.2.17) 敬称略

- 富山県リハビリテーション病院
こども支援センター
富山県市朗・森田 雅章
(株)淀川ランドリー 白江 秀幸
北日本印刷(株) 細川 民生
(株)トヤマデータセンター
前田 隆承・渡辺 貴太
(有)アイシステム 杉木 靖二
とやま自遊館 楠 徹郎
日本海建興(株) 山田 仁史・早川 隆志・富崎 茂樹
太平ビルサービス(株) 島田 達也・森田 公竹中 久雄
富山県警察本部 西村 仁志・四谷 尚貴
(特非)きんたろう倶楽部 鈴木 鈴木 茂信
(株)浪速電機工業所 草野 久志
北陸電力(株) 川村 康一・山崎 佳実

編集後記

「俺はこれから、リンゴで生きていこうと思っとながや...」

毎晩の楽しみだった「いいちこ」のお湯割りでほろ酔いになった父の言葉を、まだ中学生だった私は「何を熱く語っとながよ...」と、少し冷めた気持ちで聞いていた。

今から三十数年前、畑作振興の一環として「池多リンゴ」は小さな苗木を植えることから始まった。試行錯誤の中でようやく生産のメドが立ったのだろう。あの時の言葉は、普段は寡黙な父の口から思わす出た安堵の言葉だったのかも知れないと、今にして思う。

体を壊し、入退院を繰り返しながらも、「なんとか一人息子を大学に通わせてやりたい」と、病院を出てはすぐにリンゴ畑に向かっていた父は、東日本大震災の2ヵ月後、まだ妻のお腹の中にいる初孫の顔を見ることなく旅立った。

現在、池多リンゴの生産現場には、高齢化や後継者不足の波が押し寄せている。今号で紹介したリンゴの枝の回収作業はかなりの体力仕事なので、農家の皆さんのお役に立てるのではと感じている。

両親が早逝し、親孝行らしいことはほとんど出来なかった私だが、これからは生まれ育った郷土に「地域孝行」をしたい。

(岡崎 記)